

**【四半期状況報告書の提出方法について】**

- ・当該四半期終了の翌月15日までに電子データにて提出して下さい。(第4四半期のみ翌月25日まで)
- ・最新の「参加研究者リスト」も、併せて提出してください。

**【四半期状況報告書(総表) 記入上の注意】**

- ・国名は日本・相手国・第三国の順に配置し、順序は実施計画書9-1の記載順と揃えてください。
- ・相手国と交流を行った場合は、「1. 国別交流日数・人日数総表」の該当欄に相手国名を記入し、人数/人日数を記入してください。
- ・日本側参加者の日本国内の交流は、「2. 国内交流人数・人日数」に記入してください。
- ・各四半期をまたぐ交流については、開始日の属する四半期に、全交流日数を記入してください。
- ・相手国側のマッチングファンド等、本事業経費によらない交流については、( )に記入してください。
- (※)研究拠点形成事業(A.先端拠点形成型)、日中韓フォーサイト事業(H27年度以降採用課題)で相手国との経費負担区分が「パターン1」の場合、相手国側のマッチングファンドによる受入については、本事業経費を使用していなくても必ず記載して下さい。中間・事後評価において、本様式は、研究交流活動の実施状況についての評価資料の一つとなります。
- ・セミナー基調講演者として本事業経費から謝金を支払った場合は、旅費を支払っていない場合でも記入してください。
- ・相手国どうし(下記の場合、中国⇄韓国間)の交流については、把握している場合、参考情報として記入してください。

月 日

＜記入例＞

- ①本事業経費で、日中間において派遣・受入があった場合(日→中[2人が7日]、中→日[\*パターン2の場合のみカウント][1人が3日])
- ②本事業以外の経費(日本側の別経費や、パターン1の場合の相手国のマッチングファンド等)で、日中間において派遣・受入があった場合(日→中[1人が3日]、中→日[1人が5日])
- ③1度の派遣で複数国へ行った場合(日→中→韓→日[1人が中国に2日、韓国に3日滞在])
- ④日本側あるいは相手国側参加研究者リストに記載のある第三国所属の研究者に関する交流があった場合(ベトナムの機関に所属する日本側参加研究者の招へい、派遣)
- ⑤第三国への派遣、あるいは参加研究者リストに記載のない第三国の研究者者の招へいで例外的に本事業経費を使用した場合(カンボジアへの派遣、インドの機関に所属する研究者の招へい)

③同一研究者の場合でも1度の派遣期間中に中韓へ行った場合には、それぞれ人数をカウントする。

1. 国別交流人数・人日数総表 [m/md]

派遣先 派遣元	四半期	日本	中国	韓国	ベトナム (日本側参加研究者)	カンボジア (第三国)	合計
日本	1	2/7	1/3	3/11	( )	( )	5/18 (1/3)
	2	( )	( )	( )	( )	( )	0/0 (0/0)
	3	( )	( )	( )	1/7	( )	1/7 (0/0)
	4	( )	1/2	1/3	( )	1/5	3/10 (0/0)
	計	2/7	3/9 (1/3)	4/14 (0/0)	1/7 (0/0)	1/5 (0/0)	9/35 (1/3)
中国	1	1/3	1/5	( )	( )	( )	1/3 (1/5)
	2	( )	( )	( )	( )	( )	0/0 (0/0)
	3	( )	( )	( )	( )	( )	0/0 (0/0)
	4	( )	( )	( )	( )	( )	0/0 (0/0)
	計	1/3 (1/5)	(0/0)	(0/0)	0/0 (0/0)	0/0 (0/0)	1/3 (1/5)
韓国	1	( )	( )	( )	( )	( )	0/0 (0/0)
	2	1/63	( )	( )	( )	( )	1/63 (0/0)
	3	( )	( )	( )	( )	( )	0/0 (0/0)
	4	( )	( )	( )	( )	( )	0/0 (0/0)
	計	1/63 (0/0)	0/0 (0/0)	0/0 (0/0)	0/0 (0/0)	0/0 (0/0)	1/63 (0/0)
ベトナム (日本側参加研究者)	1	( )	( )	( )	( )	( )	0/0 (0/0)
	2	1/7	( )	( )	( )	( )	1/7 (0/0)
	3	( )	( )	( )	( )	( )	0/0 (0/0)
	4	( )	( )	( )	( )	( )	0/0 (0/0)
	計	1/7 (0/0)	0/0 (0/0)	0/0 (0/0)	0/0 (0/0)	0/0 (0/0)	1/7 (0/0)
インド (第三国)	1	1/7	( )	( )	( )	( )	1/7 (0/0)
	2	( )	( )	( )	( )	( )	0/0 (0/0)
	3	( )	( )	( )	( )	( )	0/0 (0/0)
	4	( )	( )	( )	( )	( )	0/0 (0/0)
	計	1/7 (0/0)	0/0 (0/0)	0/0 (0/0)	0/0 (0/0)	0/0 (0/0)	1/7 (0/0)
合計	1	3/11	0/0	0/0	0/0	0/0	7/28 (2/8)
	2	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	2/70 (0/0)
	3	0/0	0/0	0/0	1/7	0/0	1/7 (0/0)
	4	0/0	1/2	1/3	0/0	1/5	3/10 (0/0)
	計	4/80 (1/5)	3/9 (1/3)	4/14 (0/0)	1/7 (0/0)	1/5 (0/0)	13/115 (2/8)

2. 国内交流人数・人日数 [m/md]

	1	2	3	4
	( )	( )	(2/8)	1/3 ( )

合計	
1/3	(2/8)

第〇四半期研究拠点形成事業交流リスト 記入上の注意

「付加用務」は、本事業以外の

付加用務期間の日数を除いた日数を

日本側拠点機関名

研究交流課題名

「国内交流」の場合は、国名は記入しない

派遣期間		派遣研究者		訪問先・内容		国		交流区分(※1)
派遣期間	付加用務期間	研究者番号(※2)	氏名・所属・職名	研究者番号(※2)	氏名・所属・職名	内容	FROM	
H29. 4. 7 ~ H29. 4. 11	~	5 日間	1-〇 学振 太郎 〇〇大学〇〇研究科 教授	2-〇 〇〇 〇〇 〇〇大学〇〇研究科 教授	R-1 共同研究 S-1 セミナーに参加	日本	中国	共同研究 (R-1) セミナー (S-1)
H29. 5. 1 ~ H29. 5. 3	~	3 日間	2-〇 〇〇 〇〇 〇〇大学〇〇研究科 教授	1-〇 〇〇 〇〇 〇〇大学〇〇研究科 教授		中国	日本	共同研究 (R-2)
H29. 5. 5 ~ H29. 5. 6	~	2 日間	〇〇 〇〇 〇〇大学〇〇研究科 修士学生		S-2 セミナーに参加(ソウル)	日本	韓国	セミナー (S-2)
H29. 5. 5 ~ H29. 5. 8		4 日間	1-〇 〇〇 〇〇 〇〇大学〇〇研究科 助教		〇〇 Conferenceで本事業の〇〇の成果に関する成果発表(シカゴ)	日本	米国	研究者交流
H29. 5. 7 ~ H29. 5. 15	H29. 5. 10 ~ H29. 5. 12	6 日間	1-〇 〇〇 〇〇 〇〇大学〇〇研究科 准教授		〇〇に関する資料収集のため(〇〇研究所)	日本	韓国	研究者交流
H29. 5. 31 ~ H29. 6. 6	~	7 日間	〇〇 〇〇 国立〇〇研究所 所長		S-3 セミナーに基調講演者として招へい(東京)	インド	日本	セミナー (S-3)
H29. 6. 7 ~ H29. 6. 8	~	2 日間	1-〇 〇〇 〇〇 〇〇大学〇〇研究科 教授		S-4 セミナーに参加(北京)	日本	中国	セミナー (S-4)
H29. 6. 9 ~ H29. 6. 11	~	3 日間		3-〇 〇〇 〇〇 〇〇大学〇〇研究科 准教授	研究打ち合わせのため		韓国	研究者交流

③

<総表の記入例③>

1度の派遣で複数国へ行った場合

(日→中→韓→日 [1人が中国に2日、韓国に3日滞在])

- ・中国・韓国それぞれ行を分けて記載してください
- ・1日に複数国に滞在した場合でも滞在日数の重複を避けるため、1ヶ国の派遣期間にのみ記入してください。

(例)

・6月9日の午前中に中国→韓国へ移動を行った場合

→上記記入例のように記載してください

・6月9日までのセミナーに参加し、夕方以降韓国へと移動を行った場合

→上段の中国派遣期間を~6月9日とし、韓国派遣期間は6月10日~と記載してください

※移動日については、滞在時間や活動内容によってどちらの国に記入するのか判断をお願いします

・派遣2ヶ国目(韓国)の派遣研究者欄は空白のままにしてください

・同様に、派遣2ヶ国目(韓国)の「国FROM」欄も空白のままにしてください

・同様に、派遣2ヶ国目(韓国)の「国TO」欄も空白のままにしてください

・同様に、派遣2ヶ国目(韓国)の「交流区分」欄も空白のままにしてください

・同様に、派遣2ヶ国目(韓国)の「付加用務期間」欄も空白のままにしてください

・同様に、派遣2ヶ国目(韓国)の「研究者番号」欄も空白のままにしてください

・本事業経費(日本側経費)による交流について、記載してください。

・セミナーへ一度だけ参加するなど、参加研究者リストに記載のない参加者については、研究者番号は空欄でかまいません。

・日本側経費によらない交流(総表中、( / )で記入している交流)については記入する必要はありません

・セミナーに参加する場合は、「内容」欄に「(計画書内のセミナー番号)セミナーに参加」と記入してください

・国際学会等で成果発表した場合は、「内容」欄に「〇〇〇学会にて〇〇に関する成果発表(場所)」と、本事業との関連性や目的がわかりやすいよう記入してください

・資料収集等が目的で受入研究者が存在しない場合は、「内容」欄に「資料収集」等その目的を記入するとともに、その行き先をカッコ書きで記入してください

・一度の派遣で複数国行った場合には、目的地毎に行を分けて記載してください(派遣期間についても、実際に滞在した期間を記入してください)

(左記「総表の記入例③」を参照してください)

「交流区分」は

経費をどこから

支出するか(「

共同研究」「セ

ミナー」「研究

者交流)」で記

入してください。

複数にわたる場

合は、全て列挙

して下さい。

(※1)1回の渡航で共同研究、セミナー両方を行うような場合は、両方書いてください。

(※2)例外的に研究者番号がない者の派遣・招へいがある場合、または受入研究者がいない場合は空欄とし、「内容」欄に行き先と用務内容を具体的に記入して下さい。